

国民健康保険税引き上げ 国保運営協議会です承！

2/2 一宮市国民健康保険運営協議会が開催され、市長から「国民健康保険税の税率の改正について(2023年度以後の年度分の国民健康保険税について適用する)」の諮問があり、その内容について議論され傍聴しました。傍聴者は3人(傍聴できるのは10人)配布された資料の一部を紹介します。

○財政・事業方針

- ・愛知県が算定した国保事業費納付金を納付できる税率等を設定する。
⇒国保事業費納付金が毎年度提示されるため、適切な保険税率についての検討は毎年度行う。
- ・法定軽減対象世帯に対する1割上乘せ、世帯の所得200万円以下に対する均等割・平等割3割、70歳以上の高齢者や18歳未満(未就学児を除く)などに行っていた均等割3割の保険税の市独自減免については、2022年度で廃止とする。
- ・急激な保険税の増額とならないために繰越金(5億1000万円余)を利用する。
- ・一般会計繰越金(1人1万円 法定外を含む)は、これまでどおりとする。



○愛知県が算定した一宮市の国保事業費納付金(当初予算比)

区分	国保事業費納付金総額	被保険者数(一宮市)	1人あたりの納付金額
2022年度	10,318,665,842円	71,773人	143,768円
2023年度	10,203,632,649円	67,033人	152,218円

●2023年度の保険税 保険税率改正案 ⇒運営協議会の意見を求める

1. 基礎課税額の改正

所得割率	現行	改正後
所得割率	6.7%	7.55%
被保険者均等割額	28,800円	22,800円
世帯別平等割額	24,000円	16,800円

2. 後期高齢者支援金等課税額の改正

所得割率	現行	改正後
所得割率	2.3%	2.95%
被保険者均等割額	9,600円	8,400円
世帯別平等割額	6,000円	3,600円

3. 介護給付金課税額の改正について

所得割率	現行	改正後
所得割率	1.9%	2.4%
被保険者均等割額	10,800円	9,600円
世帯別平等割額	6,000円	3,600円

◇被保険者数、世帯数

区分	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
被保険者数(人)	76,866	74,995	71,773	67,033
世帯数(世帯)	48,856	48,279	48,058	45,613

◇一宮市の独自減免(2022年度で廃止予定)の内容

区分	対象世帯数
法定軽減対象世帯に対する1割上乘せして減免	28,864世帯
世帯の所得200万円以下の減免	7,646世帯
70歳以上・18歳未満などの減免	8,734世帯



*毎年国保の被保険者数、世帯数は減少しています。75歳になれば後期高齢者医療に移動する人、10月から社会保険に移動する人が増えているためです。一方1人あたりの医療給付費は増えています。被保険者の43%が65歳以上の世帯です。

*国保運営協議会で「国民健康保険税の税率改正」の諮問は了承され、市長に答申書が提出されました。今回の税率改正(案)では、これまで住民のために行われてきた市の独自減免も廃止されてしまいます。

世帯の人数、収入等により引き上げ額は異なります。今後は3月議会での審議となります。しっかり議論したいと思います。(ひこさか和子)



日本共産党 統一地方選挙政策アピール 2023.2.2 より

重点政策 医療・介護・福祉の拡充 国保について

政府は、「国保の都道府県化」により、自治体に公費独自繰り入れをやめさせ、高すぎる国保料(税)のさらなる引き上げとなる圧力を強めています。

憲法・地方自治法を踏みにじる不当な圧力をはね返し、全国知事会なども要求する国庫負担の抜本的増額を求め、自治体による国保料(税)の引き下げ・減免、子どもの均等割の廃止をすすめます。



愛知県知事選の結果について

候補者	大村秀章	尾形慶子	末永 啓	山下俊輔	上原俊介	安江 朗
得票数(県)	1,452,648	251,263	130,374	123,940	103,883	88,981
県得票率(%)	67.5	11.7	6.1	5.8	4.8	4.1
一宮得票数	60,360	10,310	5,990	5,197	3,515	3,348
一宮得票率(%)	68.0	11.6	6.8	5.9	4.0	3.8

愛知県知事選挙が2月5日投開票で行われ、日本共産党が推薦した、尾形けいこ候補は、得票数25万1,263票、得票率11.7%を獲得しました。2019年と2015年の知事選挙は大村知事と革新県政の会の候補者による1対1の戦いでしたが、今回は史上2番目の6人の候補者による多数乱立の選挙戦となりました。候補者乱立の2011年は14万1千票、得票率4.7%、3人の候補者で戦われた2007年が16万票、得票率5.4%でした。尾形けいこ候補勝利のためにご支持いただいたみなさん、奮闘された党員のみなさん、革新県政の会のみなさん、「みんなで創る安心の未来」に結集した政党・市民のみなさんに心からの敬意と感謝を申し上げます。

市民と野党の共闘の大きな足がかりとなる選挙戦に

今回の選挙では、革新県政の会はじめ、諸団体、市民運動に取り組む市民の皆さんが参加した政治団体「みんなで創る安心の未来」を立ち上げました。政党では、日本共産党と緑の党・グリーンジャパンが尾形候補を推薦し、社民党愛知県連、新社会民主党愛知県連が支持、山本太郎れいわ新選組共同代表も個人として尾形候補を推薦しました。選挙戦では政党・市民がともに尾形候補への支持を訴えました。

これまでの愛知の野党共闘は、それぞれの野党が他党の候補を自主的に支援する形であり、選挙戦を市民・団体・政党が共闘して取り組む選挙になったことはこの愛知での市民と野党の共同を大きく進める一歩となりました。

国べったりの大村県政の問題点を示しきれなかった

大村知事は、前回の選挙から32万2千票、得票率で15.7%も減らしています。コロナ対応、物価高騰への無為無策、統一協会との関係を続けながら大軍拡・増税へ向かう岸田自公政権への国民への批判が強まる中、岸田自公政権に追随する大村県政への不満・不信となって表れたのではないのでしょうか。しかし、未だに大村氏への7割近い支持があることは、大村氏を支える愛知県議会の「オール与党」体制と、大村県政によって作り出されている、愛知県政の実態が十分に伝えきれませんでした。

特に、愛知県には11の軍需工場が存在し、戦争になれば戦禍の危険が高い地域であることや、それらの軍需産業を大村県政が手厚く支援していることなどを県民に明らかにしていきたいと思います。

諸派4氏の得票45万票は、野党共闘の必要性を示している

今回、諸派4氏の得票数が45万票、20.8%となっています。岸田自公政権への国民の怒りは広がっていますが、それに対抗する野党共闘の後退が、政治不信に対する受け皿となった結果といえるのではないのでしょうか。

今回の選挙戦で、改めて岸田自公政権に正面から立ち向かう、市民と野党の共闘の必要性、野党共闘を再構築していく必要性を示す結果となったのではないのでしょうか。

県政・市政の日本共産党の躍進で、政治を変えよう

日本で唯一、日本共産党の県会議員空白なのが愛知県です。

愛知県の県政は、財力は全国2位であるにも関わらず、医療・介護・福祉や教育を投げ捨て、大企業支援・軍需産業支援を優先する県政となっています。また、統一協会との関係を誰も正そうとしない県政となっています。

日本共産党の議席は、県民・市民の声を議会に届け、福祉の増進という地方自治体の本分を果たすことを地方自治体に求め、地方自治体の行政をチェックする役割を果たしています。

4月の県会議員選挙、市議会議員選挙で日本共産党の議席を増やし、県民・市民の声が届き、安心して暮らせる愛知県・一宮市を実現しましょう。

大軍拡・増税、岸田自公政権の暴走ストップを

岸田政権は、私たちの生活より、大軍拡を優先する方向性を示しています。しかも、物価高騰への対策は限定的、賃金上げは大企業にお願いするだけ、ジェンダー平等には後ろ向き、大軍拡には前のめりなのに、子育て支援には具体策なしなど、このまま続けさせることはできません。

安保3文書閣議決定の通りになれば、5年間で43兆円もの軍事費使用、敵基地攻撃能力の保有が進められ、社会保障は削減され、軍拡のための増税が行われることとなります。

大軍拡ストップ、9条を守って平和外交を掲げる日本共産党の躍進が岸田政権への最大の批判の声を示すこととなります。

4月の県議選・市議選での日本共産党へのご支援をお願いします。



(わたなべさとし)